

こんばんは。北大生協学生委員会です！

もうすぐ年明けから1ヶ月経ちますね。今年が2023年ということにまだ実感が湧いていない今日この頃です。

さて、今回お届けする内容は「二次試験に向けた計画の立て方」「二次試験に向けてどのくらい勉強してた？」です。

■□■「二次試験に向けた計画の立て方」

共通テストお疲れ様でした。手応えがあった人も、そうでなかった人も、二次試験に向けて気持ちを切り替えてまた頑張りましょう…！

ただいくら「頑張ろう」と気持ちでは思っても、共通テストと二次試験では教科数や内容が違うこともあって、何から手をつけたらいいか分からない人も多いでしょう。そこで、筆者の経験をもとに二次試験までの計画の立て方を紹介します。参考になれば嬉しいです。

①まずは使える時間を把握する。

やることがたくさんあるときは、まず自分がそれにどれくらい時間をかけられるのか考えます。これは、予備校に通っている人でもそうではない人でも同じです。おそらくこの時期は学校もなくなるので、1日に全部で何時間勉強できるかをまず出してみましょう。筆者の場合は、まずざっくり1日のスケジュールを考えてから、「11時間」を1日の勉強時間として使える時間としました。

②今の自分の持ち点・実力を把握する。

いくら1日に使える時間が増えても、むやみやたらにやっていると時間はあっという間に過ぎてしまいます。使える時間が分かったら、今の自分には何が足りていて、何が不足しているのか整理してみましょう。

具体的には、1年分の過去問を解いて自己採点・添削をして大体の点数を出します。そして、自分の共通テストの自己採点と、過去問などに載っている合格最低点を見て、どの教科であと何点必要なのか、具体的にどこが弱いのか分析します。

筆者の場合、共通テストの自己採点を換算した点数と、解いた過去問の点数を足して、合格最低点と比べた結果、「国語は、現代文の記述が弱い」「英語は、英作文で著しくミスが多く足を引っ張っている」「世界史は記述で全く点がもらえてない」という3つの弱点が見つかりました。そこで、「現代文の記述」「英作文」「世界史の記述」の3つに時間を多く割くことにしました。

③本番までにやるべき過去問・問題集の量を把握する。

目標と使える時間を決めたら、具体的にやるべきことの量を把握して、1日毎のスケジュールを作りましょう。本番までは1ヶ月強。決めたものが終わらないと本当に焦るので、やるべきことは少なめに設定するのがおすすめです。

筆者の場合は、2日～3日に1回過去問を解く計算で、北大の世界史6年分を3周、北大の国語12年分を2周、北大の英語16年分（英作文のみ2周以上）、私立併願の過去問を1年分やることにしました。誰かに添削をお願いする場合、返ってきたものを復習する時間も考えることがポイントです。

そして、1日あたりにやる量を割り当てていく時、気をつけたいのが余裕をもつことです。筆者は、計画倒れに1回でもなると不安になってしまう性格だったので、「ペースは大丈夫か」「課題の量は適切なのか？」を基準に、1週間に1度計画を見直しました。また、日曜日は調整日にしていました。1週間のうちに終わらなかったものをやったり、1週間やってみた上で足りないところを復習したり、などです。

以上です！やることが多いと不安になりますが、現状を知ってゴールまでに何をやる必要があるか、把握するだけでも本番前の不安は軽減するはずですが、計画はあくまでも目安です。最初に立てた計画通りやらなければいけない、なんてことはないので何度も見直しましょう！

■□■二次試験に向けてどれくらい勉強してた？

では次に、実際に共通テストが終わってから二次試験までにどのくらい勉強したのかを書いてきます。勉強の量を定量的に説明するのは難しいですが、なるべくイメージが湧きやすいように書いていきますね。

私立受験も控えている時期ではありましたが、基本的に解いていたのは北大前期の過去問です。1月中は学校に通っていたので、放課後などに赤本を解く＋その見直しを徹底していました。2月に入ってからは学校での授業が無くなったので、近所の図書館で実際の試験時間に合わせて過去問を解いていました。ちゃんと休憩を取らないとやってられなくなる性格だったので、入試特有の長い休み時間にはちゃんと休み、見直しはその日の夜や翌日などに行っていました。

よく言われることですが、自分は「間違えた問題は二度と間違えない！」くらいの意気込みで見直しをしていたので、一度解いた年の過去問は繰り返しませんでした。自分で買った5年分＋学校においてあった過去の赤本でさらに5年分、合計で10年分ほど過去問を解きました。

また、通常の赤本のほかに科目別の「北大の〇〇15カ年」も解いていました（といっても今のように物理・化学はなく英語と数学のみでしたが）。3年生になってからずっと一緒に勉強していた同じクラスのNくん（筑波大志望）、Mくん（千葉大志望）と深夜に電話しながら各大学の数学の過去問を解き、互いにわからないところを教えあいながら勉強していました。

赤本のほかには、自分の苦手な分野の復習を行っていました。「北大の入試は基本的な問題が多く出題される」と聞いていたので、学校で配られるような基本的な問題集を使って復習していました。

以上が自分の二次試験に向けた勉強法です。しかし、勉強方法は人によって様々です。残り少ない期間ではありますが、ぜひ自分に合った勉強方法で頑張ってください！

■□■今日の写真……………

今日の写真は「まんてがん外伝」「おでん」です。

「まんてがん外伝」は、北大近くにある冬季しか営業していないうどん屋さんです！

まんてがん外伝

https://drive.google.com/file/d/1mgzOUVZXDg_dvlfzQFVmJ5_SDSzRy41z/view?usp=sharing

おでん

<https://drive.google.com/file/d/1Cnm8RZvR6CaYDnJ0fkb1dt7qTynpyJpB/view?usp=sharing>

■□■今日の問題……………

今回の問題は、覚えておきたい「英語のフレーズ」です。

長文読解で役立つだけでなく、自由英作文のときのイディオムとしても活用できるので、ぜひ覚えてみましょう！

1. a substitute for～
2. as it were
3. beyond doubt
4. in brief
5. in other respects
6. in some way or other

……………前回の解答

1. 農学
2. 動物学
3. 海洋学
4. 気象学
5. 薬学
6. 民俗学

.....

次の配信は「体調管理で気を付けたいこと」「勉強に集中するコツ」です。お楽しみに！

■□■追伸.....

2022年の字面が好きすぎて2023年に切り替えができません。（文・1・きなり）

入試からもう2年も経つなんて...時の流れって早いですね（工・2・な一やん）

○バックナンバーはこちらから

<https://hokudai-coop-gi.com/mail/mail.html>

○配信停止はこちらから

`%url/https:out:ouen23stop%`

○北大生協学生委員会のブログはこちらから

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/?cat=22>

○質問等はこちらまで

北大生協学生組織委員会

jukensei_ouen@coop.hokudai.ac.jp
